

授業概要

子どもの表現に関わる資質・能力をバランスよく育成させるためには、造形遊びや工作の活動、絵や立体の中で、子どもが納得するまでつくらせていく。特に再構成（つくり、つくりかえ、つくる）を満足のいくまで持たせる学習活動が必要であろう。このことは造形指導をする指導者にも、幅広い経験と深い学びが必要であると考えられる。本講義では造形活動の指導・実践に必要な、様々な材料・用具の取り扱いについて理解を深める。また、幼児・児童期における発達段階の理解と幅広い造形の基礎技能の習得を図ることをねらいとする。

授業計画

第1回	授業ガイダンス（子どもの遊びと造形表現、幼小接続）
第2回	子どもの絵の発達段階と様々な表現（観察画・創造画：水彩画）
第3回	子どもの絵の発達段階と様々な表現（生活画・遠近法）
第4回	題材研究2：ドリッピング（垂らし絵）とパチック（はじき絵）
第5回	題材研究3：スパッタリング：型を用いたグラデーションの基本
第6回	題材研究3：スパッタリング：型を用いたグラデーションの応用
第7回	題材研究4：空の造形－凧作り－
第8回	題材研究4：空の造形－凧の揚げ方と安全指導－
第9回	題材研究5：芯材を使った粘土制作① 粘土の特性と種類
第10回	題材研究5：芯材を使った粘土制作② 芯棒について、骨組み、肉づけ
第11回	題材研究5：芯材を使った粘土制作③ 着色、仕上げニス
第12回	題材研究6：紙工作 立体構成－からくりBOX
第13回	地域の美術館の活用について（鑑賞教育）、表現及び鑑賞の学習指導と評価について
第14回	グループワーク1 紙工作 立体構成－未来の街①（主題決め）
第15回	グループワーク1 紙工作 立体構成－未来の街②（並べる・つなぐ）
第16回	まとめ（筆記試験又はレポート提出）

到達目標

- ・ 図画工作科の学習環境とその運営、施設・設備に関する環境の配慮について理解する。
- ・ 表現及び鑑賞の学習指導と評価について理解を深め、造形表現に関する知識や基礎技能の習得を図る。
- ・ 造形活動を通して、様々な材料用具の正しい扱い方と安全指導を身につける。

履修上の注意

- ・ 造形活動で用いられる様々な材料用具（工作用紙・クレヨン・絵の具等）は、各自が準備することになる。詳細は授業内で随時伝える。
- ・ 学外活動又は外部講師による講演授業の場合も予定される。

予習・復習

学生自身が造形活動を楽しみ、豊かな感性を育てることが求められる。そのための準備・努力を惜しまないこと。主体的かつ授業外においても、造形活動に取り組むことを期待する。

評価方法

個人・共同製作における持ち物の準備（20%）。作品の期限内における提出の有無と内容（40%）。学習態度、協調性（40%）

テキスト

『保育・教育のための実践事例で理解するわかりやすい「表現」』 創成社